

## 低コスト木材供給体制整備事業（新規）

### 【平成19年度概算決定額

低コスト木材供給体制整備事業 955,205（0）千円

強い林業・木材産業づくり交付金

6,432,848（6,990,037）千円の内数】

### 事業のポイント

林業事業体が森林所有者に積極的に間伐などの森林整備を働きかけることによる施業の集約化、原木需給のマッチングによる流通の合理化、低コスト生産を実現する作業システムの定着の推進などを通じ、低コストで木材を安定的に供給する体制の整備を推進します。

### （我が国の民有林の保有構造と木材の生産コスト）

- ・ 1ha以上の山林を保有する民有林の森林所有者の9割近くを「林家」が占めているが、保有山林面積が5ha未満の林家が75%であり、民有林の保有構造は小規模零細的。
- ・ 我が国の木材の生産コスト（6,900円/m<sup>3</sup>）は、オーストリア（3,100～3,600円/m<sup>3</sup>）の約2倍、フィンランド（1,400円/m<sup>3</sup>）の約5倍。

### 政策目標

新たに5年間で、50万m<sup>3</sup>の木材供給を創出

### <内容>

#### 1. 施業の集約化の促進と原木供給可能量情報の集積

- (1) 林業事業体、地方公共団体等が地域の木材生産・流通の構造改革の方向性について検討する地域協議会等の活動、コストを明示した森林施業の提案手法の普及を通じた間伐などの施業の集約化と原木供給可能量情報の集積

【定 額、補助率1/2】

【施業集約化・供給情報集積事業 559,040（0）千円】

- (2) 施業の集約化を行う場合に必要な無利子資金の償還期間の特例の創設及び資金造成

【林業・木材産業改善資金】

- (3) 施業のとりまとめを行う森林組合等に対する素材生産委託費に係る運転資金の拡充

伐採と造林を一連の作業として実施するための運転資金の創設

【木材産業等高度化推進資金】

#### 2. 原木供給可能量情報と国産材需要情報のマッチング

木材加工業者の求める品質規格の把握等による原木供給者と需要者間のコーディネート活動の実施

【定 額、補助率1/2】

【素材流通コーディネート事業 41,434（0）千円】

### 3. 森林施業の低コスト化

- (1) 路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト作業システムの開発・普及、オペレーターの養成

【定 額、補助率1/2】

【低コスト作業システム構築事業 201,600(0)千円】

- (2) 低コスト作業システムに対応できる高性能林業機械の開発・改良

【定 額】

【森林整備効率化支援機械開発事業 153,131(0)千円】

- (3) 低コストで林業生産活動を行う林業事業体モデルの育成

【定 額】

【強い林業・木材産業づくり交付金

6,432,848の内数(6,990,037の内数)千円】

[担当課：林野庁経営課(1(1)、3(3))

企画課(1(2)、(3))

木材産業課(2)

研究・保全課(3(1)、(2))]